

駅舎日常清掃 一日当たり作業要領(東西線)

東西線駅舎（13駅）の日常清掃について、下記のとおり実施すること。なお、清掃作業は通行量の少ない時間帯を中心に実施するとともに、旅客等の通行の妨げにならないよう十分配慮して行うこと。  
※平日 7 時30分～8 時45分は、原則として地下鉄車両による清掃係員の駅間移動及び清掃資機材の搬送を禁止する。また、平日16時30分～19時30分は、原則として地下鉄車両による清掃資機材の搬送を禁止する。  
※清掃係員は、地下鉄車両による駅間移動時に車内でゴミを発見した場合には回収すること。  
※清掃履行状況確認の結果、清掃の不足が認められた場合には、駅係員からの連絡に基づき同日中に当該箇所の再清掃を実施すること。

時間帯	清掃場所	清掃対象等	回数等	清掃内容	留意事項等
6:00 ～ 8:00	駅舎旅客使用部全て	床	1 回	駅舎旅客使用部の巡回を行い、床のゴミや綿埃、飲料水等の汚れ、汚物や嘔吐物を除去する。	・床の細かな塵芥については、この時間帯における清掃は不要とする。 ・床及び衛生陶器の清掃については、午前7時30分までに終了させること。 ・トイレ清掃時には、清掃作業を優先することなく、利用客最優先を徹底すること。
	旅客便所	衛生陶器	1 回	洗剤等の薬品を使用して、ブラシ等により汚物、汚れを除去する。 ※衛生陶器の外回りについては、水拭きを行ったうえで乾拭きする。 ※詰まりが有る場合には、専用用具を使用して使用可能な状態に復旧させる。	
			1 回	トイレトペーパーについて、大便器1箇所あたりの配置個数が2個以上となるよう補充する。	
		補充用品	1 回	洗面台の水せっけんについて、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
			1 回	便座用消毒剤について、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
8:00 ～ 17:00	出入口 客用階段 コンコース エレベーター  定期券発売所ロビー	床 【材質】磁気タイル 花崗岩 塩ビタイル 他	1 回	床の拭き掃きを行い、床のゴミ・塵芥・泥土等を除去する。 ※全面について、箒・ダストモップ・真空掃除機等を使用した掃き清掃を行い汚れを除去する。 ※汚れが著しい部分については、モップ又はポリッシャー等を使用した拭き清掃を行い汚れを除去する。	・吸塵作業は塵芥等が舞わないように行うこと。 ・モップ等により水拭きする場合は、よくすすいだ後固く絞って使用すること。 ・水拭きの際は、汚れの程度に応じて、洗剤等の薬品を使用して汚れを除去すること。 ・嘔吐物等が数ヶ所に点在する場合には、その全てをおがくず等で覆った後除去作業を行うこと。 ・ゴミの運搬は、専用カートを使用して行うこと。 ・駅舎内に設置されている手すりについて、発注者からの指示があるまで、専用の布等により、次亜塩素酸水等での消毒作業を併せて行うこと。（エスカレーターの手すりは除く。）
			1 回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		手すり	1 回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		ベンチ	1 回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		柵	1 回	専用の布等で天板部分の乾拭きを行い汚れを除去する。なお、側面部分についても、週に1回以上は乾拭き等を行い汚れを除去する。	
		ドア把手・柵等の金属部	適宜	金物磨き剤を使用した磨き上げ等を行い汚れを除去する。	
		排水溝・排水口	適宜	排水溝及び排水口に堆積した塵芥・泥土等を除去する。	
		ゴミ箱	1 回	定期券発売所ロビーのゴミ箱から内容物を回収し、容器及び周辺を清掃する。	
	プラットホーム	ガラス戸拭き	隔日	定期券発売所ロビーのガラス戸について、水拭きを行ったうえで乾拭きを行い汚れを除去する。	
		床 【材質】磁気タイル 他	2 回	床の拭き掃きを行い、床のゴミ・塵芥・泥土等を除去する。 ※全面について、箒・ダストモップ・真空掃除機等を使用した掃き清掃を行い汚れを除去する。 ※汚れが著しい部分については、モップ又はポリッシャー等を使用した拭き清掃を行い汚れを除去する。	・吸塵作業は塵芥等が舞わないように行うこと。 ・モップ等により水拭きする場合はよくすすいだ後固く絞って使用すること。 ・水拭きの際は、汚れの程度に応じて、洗剤等の薬品を使用して汚れを除去すること。 ・嘔吐物等が数ヶ所に点在する場合には、その全てをおがくず等で覆った後除去作業を行うこと。 ・駅舎内に設置されている手すりについて、発注者からの指示があるまで、専用の布等により、次亜塩素酸水等での消毒作業を併せて行うこと。（エスカレーターの手すりは除く。）
			1 回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		手すり・ベンチ	1 回	専用の布等で天板部分の乾拭きを行い汚れを除去する。なお、側面部分についても、週に1回以上は乾拭き等を行い汚れを除去する。	
		柵（ホーム柵を除く）	1 回	専用の布等で天板部分の乾拭きを行い汚れを除去する。なお、側面部分についても、週に1回以上は乾拭き等を行い汚れを除去する。	
		ホーム柵	2 回	専用の布等で天板部を乾拭きする。なお、清掃時間の間隔は5時間以上空けるものとする。	
		時刻表・広告パネル	1 回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		柵・時刻表等の金属部	適宜	金物磨き剤を使用した磨き上げ等を行い汚れを除去する。なお、ホーム柵は除く。	
	エスカレーター	手すり	1 回	専用の柔らかい布で乾布拭きを行い汚れを除去する。なお、汚れが著しい場合は、適宜、水拭きする。	・水拭きの際は、汚れの程度に応じて、専用の洗剤等を使用して汚れを除去すること。
		ガラス・金属部等	適宜	綿埃等を除去したうえで、乾拭きする。汚れの著しい箇所は、水拭きする。	
		ステップ	適宜	綿埃等を除去したうえで、汚れの著しい箇所について水拭きを行い、汚れを除去する。	
	旅客便所	床 【材質】磁気タイル 他	1 回	床の拭き掃きを行い、床のゴミ、塵芥、泥土等を除去する。	・清掃及び点検の際は、清掃中等の案内板を掲出すること。 ・清掃及び点検でトイレに入室する際は、「清掃（点検）に入ります。」の声かけを行うこと。 ・清掃中であっても、お客様の利用を優先すること。 ・モップ等により水拭きする場合はよくすすいだ後固く絞って使用すること。 ・水拭きの際は、汚れの程度に応じて、必要により洗剤等の薬品を使用して汚れを除去すること。 ・嘔吐物等が数ヶ所に点在する場合には、その全てをおがくず等で覆った後除去作業を行うこと。 ・東西線のトイレは排水口が無いため、適宜そのことを考慮した清掃方法により清掃すること。 ・ゴミの運搬は、専用カートを使用して行うこと。
			2 /回	※全面について、箒・ダストモップ・真空掃除機等を使用した掃き清掃を行い汚れを除去する。 ※汚れが著しい部分については、モップ又はポリッシャー等を使用した拭き清掃を行い汚れを除去する。	
		間仕切り・ドア	同上	水拭きを行い汚れを除去する。	
		鏡	同上	専用の布等で水拭きを行ったうえで乾拭きを行い汚れを除去する。	
		衛生陶器	1 /回	洗剤等の薬品を使用して、ブラシ等により汚物、汚れを除去する。	
			2 /回	※衛生陶器の外回りについては、水拭きを行ったうえで乾拭きする。 ※詰まりが有る場合には、専用用具を使用して使用可能な状態に復旧させる。	
		手すり	1 /回	専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。なお、週に1回以上は水拭きを行ったうえで乾拭きする。	
		ベッド	1 /回	汚れを水拭きで取り除いた後、アルコール除菌剤を使用して拭き取る。	
		ドア把手・柵等の金属部	適宜	金物磨き剤を使用した磨き上げ等を行い汚れを除去する。	
		ゴミ箱・汚物入	1 /回	ゴミ箱・汚物入から内容物を回収し、容器及び周辺を清掃する。	
		補充用品	5 /回	トイレトペーパーについて、大便器1箇所あたりの配置個数が2個以上となるよう補充する。	
			5 /回	洗面台の水せっけんについて、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
			5 /回	便座用消毒剤について、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
		その他補充用品	適宜	トイレトペーパーホルダーの芯、洗面台の水せっけん入、女子トイレ汚物入が破損した場合、新品と交換する。 ※破損のほか、汚れが著しい場合についても、発注者の指示により新品と交換する。	
			適宜		
	出入口上屋	風除ガラス枠等の金属部	適宜	金物磨き剤を使用した磨き上げ等を行い汚れを除去する。	
		壁面・駅名表示板	適宜	クモの巣及び虫等を除去し、水拭きする。なお、必要に応じて防虫スプレー等を塗布する。	
	ゴミ集積庫	ゴミ処理	1 /日	清掃により発生したゴミのうち、一般事業系廃棄物をゴミ集積庫に集積し、指定日に処理業者に引き渡す。	・一般事業系廃棄物を廃棄するゴミ袋については、発注者から支給するものとする。 ・ゴミ袋支給の際に交付される納品書について、速やかに駅務係に提出するものとする。 ・床の細かな塵芥については、この時間帯における清掃は不要とする。
17:00 ～ 20:00	駅舎旅客使用部全て	床	適宜	駅舎旅客使用部の巡回を行い、床のゴミや綿埃、飲料水等の汚れ、汚物や嘔吐物を除去する。	
	旅客便所	衛生陶器	適宜	洗剤等の薬品を使用して、ブラシ等により汚物、汚れを除去する。 ※衛生陶器の外回りについては、水拭きを行ったうえで乾拭きする。 ※詰まりが有る場合には、専用用具を使用して使用可能な状態に復旧させる。	
			適宜	トイレトペーパーについて、大便器1箇所あたりの配置個数が2個以上となるよう補充する。	
		補充用品	適宜	洗面台の水せっけんについて、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
			適宜	便座用消毒剤について、残量が全体の1/2以上となるよう補充する。	
全時間共通 【緊急対応】	駅舎旅客使用部全て		別途指示	駅係員から飲料水のこぼれや汚物、嘔吐物等の清掃依頼があった場合には、可能な限り他の作業に優先して清掃作業を行う。	・他の作業がある場合には、緊急性を勘案して駅係員と協議し、作業の優先順位を決定する。 ・清掃内容は、上記清掃内容に準じるものとする。 ・汚物、嘔吐物の処理後は、駅係員に当該列車番号及び車両の位置を報告する。
	地下鉄車両		別途指示	駅係員から旅客の要望等に基づく清掃依頼があった場合には、可能な限り他の作業に優先して清掃作業を行う。	
			適宜	地下鉄車両に乗車中に飲料水のこぼれや汚物、嘔吐物等を発見した場合、駅舎清掃に優先して清掃作業を行う。	
			別途指示	事件・事故等により地下鉄車両内外が汚損した場合、駅係員の指示に基づき当該現場の清掃作業を行う。	
	軌道敷		別途指示	事件・事故等により軌道敷が汚損した場合、駅係員の指示に基づき当該現場の清掃作業を行う。	

駅舎定期清掃作業要領(東西線)

◎注意事項

全ての作業は、ロープやカラーコーン等により作業範囲を明確にし、駅利用客等の通行の妨げにならないよう、十分配慮して注意して行うこと。

特に、階段、エレベーター、エスカレーター、トイレ付近、改札口付近は利用客の通行量の少ない時間に作業を行うこと。

また、旅客便所の清掃の際には[清掃中]のお知らせを掲出し、清掃中であっても、利用者により申し出があれば利用させること。

ホーム階の定期清掃を行う場合は、運行する地下鉄列車に十分注意し、一旦作業を中止する等の危険回避を行い作業すること。

清掃場所	回数	清掃内容		留意事項等
プラットホーム コンコース (八木山動物公園駅及び仙台駅の 定期券発売所ロビーと仙台駅の 待合休憩スペース含む) 出入口 旅客便所 客用階段 避難階段 (青葉山駅、川内駅、大町西公園駅、 青葉通一番町駅、宮城野通駅、連坊駅)	6 /年	床面洗浄	塵芥・泥土がある場合は、ダストモップ・真空掃除機等により除去した後、洗浄液等により、ポリッシャーを使用して機械洗浄する。 ただし、書面による承諾願の提出、及び発注者の承認により、ポリッシャーによる洗浄と同等又はそれ以上に汚れが落ちると発注者が認めた場合には、他の洗浄方法を可能とする。 汚水は、吸水用真空掃除機あるいは床用スクイージー等を使用して除去すること。 汚水除去後、よくすすぎ固く絞ったモップ等により水拭きする。	・清掃時の汚水は指定された場所に流すこと。 ・プラットホームの清掃時には、ゴミや汚水等を軌道敷内に落とさないようにすること。 ・ゴミ箱や広告ラック等、動かせるものは移動させてその下も清掃すること。
	2 /年			
エレベーター	6 /年	床面洗浄 ワックス仕上げ	塵芥・泥土がある場合は、ダストモップ・真空掃除機等により除去した後、洗浄液等により、ポリッシャーを使用して機械洗浄を行い、ワックス仕上げる。 ワックスの塗布は2回以上とし、滑りにくい種類の製品を使用すること。 汚水は、吸水用真空掃除機あるいは床用スクイージー等を使用して除去すること。 汚水除去後、よくすすぎ固く絞ったモップ等により水拭きする。	・汚れのひどい箇所は、剝離処理を行ったうえでワックス仕上げること。
エレベーター プラットホーム コンコース (八木山動物公園駅及び仙台駅の 定期券発売所ロビーと仙台駅の 待合休憩スペース含む) 出入口 旅客便所 客用階段	1 /年	壁面拭き清掃	床から天井までの壁面、柱（ホーム対向壁を除く。）及び扉を水拭き掃除する。 コンコース、プラットホームの時刻表、案内パネルを水拭きする。 コンコース壁面にある内照広告のガラス表面及び金属製の外枠部分を水拭きする（広告内部に水が入らないように行うこと）。 天井及び壁面の換気口とその付近を、塵芥等が舞わないように真空掃除機で吸塵した後、ブラシ・洗剤等で洗浄する。 壁面、柱にテープ類の付着又は剥し跡がある場合には、適宜、専用洗剤等を使用し洗浄すること。	・水拭きが出来ない場所は、乾拭きとする。 ・水拭きの際には、周辺に水をこぼさないよう固く絞った布等により行うこと。 ・高所作業を伴う作業では、安全対策を十分に行うこと。
緑化ボックス	2 /年	拭き清掃	仙台駅コンコース壁面に設置されている緑化ボックス内について、吸塵を行い、専用の布等で乾拭きを行い汚れを除去する。 ガラス面について、水拭きを行ったうえで乾拭きを行い汚れを除去する。	

駅舎特殊清掃作業要領(東西線)

◎注意事項  
「除雪」は周辺の住民や通行人等に危害を及ぼすことのないよう、十分配慮して行うこと。

特殊清掃名称	清掃回数	清掃内容
資源ごみ回収	適宜	清掃範囲全駅のダンボール・新聞紙・雑誌等の資源ごみをあらかじめ集積しておき、定期的に回収業者に引き渡す。 なお、受注者は回収業者を選定し、回収方法等の詳細を回収業者に指示する。
便座用消毒剤補充	適宜	各駅トイレに設置する便座クリーナーに薬剤を補填する。 器具の取付状況の点検は年6回以上行い、異常が生じた際は随時保守点検等の対応を行う。
除雪	適宜	積雪が3cmを超えた場合、またはその恐れがある場合に実施する。 各駅の出入口から半径2mの範囲の歩道上を箒、スコップ等により除雪し、歩道上の通行の妨げにならない箇所に留め置くものとする。（別表1参照） 凍結の恐れがある場合は、発注者の準備した融雪剤を散布するなどして、凍結防止処置を行う。
空き容器等回収箱清掃	2回 / 日 (仙台駅のみ) 3回 / 日)	1回目 自販機設置個所に設置している空き容器回収箱内の内容物を回収し、分別し回収箱とその周辺を清掃する。 2回目 状況を確認し、必要があれば1回目の処理をする。（仙台駅の3回目も同様とする。） 内容物は別途指定された場所に運搬し、分別の上、処理業者に引き渡すこと なお、発注者が処理業者と調整し、別途引渡し方法等について指示する。 ※分別用のゴミ袋は、発注者が用意する。 ※駅舎の外に設置されている自販機のうち、発注者が指定したものについては、清掃の対象とする。